

KATSUSHIKA HOKUSAI

ミュージカル 北斎マツガ

わらび座創立70周年記念作品

脚本・演出：マキノノゾミ
作曲：八幡茂
振付：新海絵理子
制作：わらび座

未来が求めるのは、

北斎的人間かもしれない

文化庁

文化庁統括団体によるアートキャラバン事業
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

わらび座 WARABIZA

2022年 **10月10日** (月・祝)

開場13:30 / 開演14:00

会場 **伝国の杜置賜文化ホール**
(山形県米沢市丸の内 1-2-1)

主催：公益社団法人日本劇団協議会・一般社団法人わらび座
協力：公益財団法人米沢上杉文化振興財団

全席指定 一般 5,000円
高校生以下 2,500円

当日券 各500円増 ※未就学児のご入場はご遠慮ください
★わらび座の会 (ごみコース以上) の方は 5枚まで 10%割引
(会員様は事務所へ電話、FAXでお申込みください。高校生以下は割引対象外)。
★伝国の杜ファンクラブ会員の方は 4枚まで 10%割引

チケット
発売日
7/21

▶わらび座オンラインチケット (Gettii)
<https://www.warabi.jp/info/gettii.html>



わらび座オンラインチケット

チケットのお申込み・お問い合わせ

伝国の杜置賜文化ホール
・TEL 0238-26-2666
(9:00 ~ 17:00)
・FAX 0238-26-2660

一般社団法人わらび座
・TEL 0187-44-3332
(平日 9:30 ~ 17:00)
・FAX 0187-44-3318

魂の傑作『富嶽三十八景』はなぜ生まれたか。

稀代の絵師・葛飾北斎と
人生を共にした周囲の人々との知られざる物語。



知らない道を歩こう
自分だけの道を
今日から歩いてみよう



左七との関係は、
そんな人を支える妻・おことだが
突然の病に倒れてしまう。おことの
ために「世一代の絵を描こう」と決心
する鉄蔵だが、はたして絵を完成
させることはできるのか、そして
左七との関係は、

「ものには何でも色と形がある。その
一瞬の姿をこの手で写し取れた時、
たまたまなく愛おしくなる。なんて楽し
い、なんて嬉しい。それが絵師の仕事」
戯作者・左七・曲亭馬琴とコンビを
組んでヒット作を飛ばすが、作品の
方向性を巡って大げんか。
娘のお栄も鉄蔵に似て絵のことが
好きでたまらない。せつかく結婚
したのに亭主の絵をけなしで離縁
させられてしまう。

時は江戸後期、鉄蔵のちの感傷は、
32歳の春、阪元の葛屋重三郎がおこと
を鉄蔵に引きあわせる。家業をしく
して生きる張り合いを失っていた
おことだが、日本一の絵師になりた
いと夢中で絵を描く北斎の姿に、いつ
しか自分の夢を重ねていく。

どーぞかしてらっしゃるの男！

Staff	Cast
<p>脚本・演出 マキノノゾミ</p> <p>群馬県渋川市出身。同志社大学文学部卒。劇団M.O.P.主宰(1984年解散)。2018年解散。外部の機会へも件、宝島と幅広く活動中。2002年度後援NHK連続テレビ小説「まんてん」脚本を担当。富嶽三十八景大賞新人賞、近畿演劇大賞優秀作品賞、紀伊国宗演劇賞個人賞、京都府文化賞特別賞ほか受賞多数。</p>	<p>鉄蔵(葛飾北斎) 役 鈴木 裕樹</p> <p>新庄県大仙市大田町出身。2009年わらび座でのミュージカル『坊っちゃん』で、鉄蔵青年時代の心算役で好評を博す。わらび座ミュージカル『げんない』では高次郎(のちの西郷隆盛)役、少年団後援会を兼ね。近年のわらび座ミュージカルでは、『島三さん』の藤田島三役、『KINSHOU』の二宮金次郎役と主演を演じる。</p>
<p>作曲 / 八幡 茂 振付 / 新海 絵理子 美術 / 高橋 知佐 照明 / 志村 拓 音楽 / 福地 達朗 衣装 / 市橋 幸恵 小道具 / 平野 忍 ヘアメイク / 我妻 洋子</p> <p>【協力】肥後風見町美術資料協力 / 羽原 悠</p>	<p>曲亭馬琴 / 平野 進一 おこと / 遠藤 浩子 お栄 / 川井田 南 勝川春好 / 黒木 友宜 葛屋重三郎 / 瀧田 和彦 お路 / 遠田 雅 お百 / 上平 美咲 弟子 / 村中 琉奈</p>

公演に関するお問い合わせ
一般社団法人わらび座 公演事業部

〒014-1113 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430
TEL>0187-44-3332 <FAX>0187-44-3318
<Mail>info@warabi.or.jp <WEB>https://www.warabi.jp/

わらび座とは
わらび座は富嶽三十八景をベースに、多彩な表現で現代の心を響かす、日本のオリジナルミュージカルを上演する劇団です。1951年2月創立。現在、5つの公演・グループで年間約800日目の上演を行っています。その他に、尺牍舞踊・文楽・演劇など、様々なワークショップの豊富な実績があります。また秋田県仙北市には劇団の本拠地として「あきた芸術村」を築き、音楽公演を行う「わらび劇場」を中核としながら、児童、小・中・高、地・道・県、体験工房、展開等からなる国内オンラインの総合文化施設として高い評価をいただいています。